

会員企業の紹介

“地産地消、地元の企業を育てます” あなたの企業やお店をご紹介します。

■ 四日市発 “ものづくり”

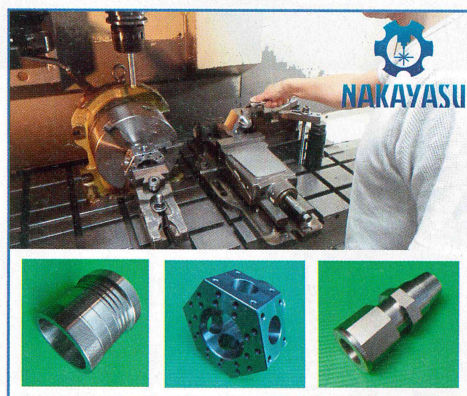
仕事に喜びと感謝の心を持って 客先と接すれば 自ずから共に栄あり — を経営方針に掲げ、先代から2代目へと受け継がれた職人魂。培った金属加工技術で、メイド イン ジャパンを支える。

父から息子へ

「父の背中を見て育ちましたから」と2代目、中易克次氏（48歳）。物心ついたころから工具や機械に囲まれ、器具の扱いは見様見真似で身に着けた。手先の器用さも親譲り。車好きが高じて、整備士として2年ほど会社勤めを経験したが、父靖尚氏の下で学び、成長し、肩を並べるのは自然の流れだった。

金属部品加工業の看板を上げた昭和45年創業時は、高度成長期を背景に車両部品の製造が主流。平成以降は半導体製造用プレス機械用の部品へと徐々に移行。製品は複雑化し高い精度が求められた。

難易度の高い加工も顧客の要望なら首を縦に振って応えてきた。「あそこに任せたら大丈夫」。親子2代で培った技術と職人魂でつかんだ信頼は、いまや業界で定説になった。



企業イメージと製品3種

次の世代へ

工場にはコンピュータ数値制御によって自動で金属加工できるNC旋盤やマシニングセンタが何機も並ぶ。小規模経営ながら随時、機械装置導入で設備投資し、市場動向を見極めて品質向上に努めてきた。

外径8ミから50まで、長さ5ミリから1メートルを超えるものまで対応できる。NC旋盤は加工を飛躍的に進歩させたが、使いこなせるのも職人の経験と勘あつてこそ。

「職人がどんどん減っていく」と将来を憂い、「人を育てること」をひとつの使命にしている克次氏は、今年初めてリーディング産業展（10月27、28日・四日市ドーム）へ出展する。「ものづくり」は職人の心意気あつてこそ。町の鉄工所を知ってもらい、雇用促進につなげたいと、打って出る。

有限会社 中易鉄工所

〒510-0801

四日市市三ツ谷東町6番12号

☎ 059 (331) 0081

昭和45年4月創業、平成16年7月法人設立

■ 応援隊発 “そうぎょう”

土木・建設工事に関する交通警備業界に、Zeal=熱意という名の新しい会社が立ち上がった。人とのつながりを大切にしてきた代表が、これからも人を大切にと、自ら汗を流して奮闘している。

いつかは自分の会社を

代表の島村斉氏（46歳）は生まれも育ちの高知という土佐の「いごっそう」。ふるさとで働いていた二十歳前にバブル経済崩壊を経験した。バイクが好きで「仕事をするなら鈴鹿で」と、高知を後にした。以来、鈴鹿市内の派遣会社で15年、別会社で人員管理と営業畑に就いて、仕事の厳しさと極意を心身で覚えた。

いつかは自分の会社をーと20代のころから抱いていた野望が頭をもたげた。「自分でやってみたら」と家族の後押しを受けて一念発起。

とはいえ、開業に関する知識と経験がない。知人の勧めで当所を訪ね、創業計画の立て方から関係書類の記入法、融資相談など受けることに。かくして「Zeal」の看板が上がった。

さらに目指す先を

工事現場やショッピングセンターの駐車場など交通警備の需要が多い一方で、スタッフの確保がもつぱらの課題。急な対応には、これまで育んだ人脈で、同業に助けられることが多いという。

持ち前の明るさで、人生の波を乗り越えてきた。困ったときは焦っても無駄。「そのうち、なんとかなるだろう」と、言い聞かせ、自分を信じて前に進んできた。

開業して自由を感じている反面、苦しさはある。従業員とその家族の生活を支えていくプレッシャーを背負うことの責任と自覚もある。

将来は警備業の枠にとどまらず、あらゆる業種に応えられる会社になりたいと新たな野望。今は警備のノウハウを教育して人を育てたいと、足元を見つめている。



企業ロゴ入りヘルメットと胸章

Zeal（ジール）

〒510-1202

四日市市あがたが丘3丁目20番地3

☎ 080 (4217) 1026

当所の創業支援を受けて、今年4月開業